

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価									
巡回・窓口相談指導事業	小規模細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導日数 年間163日 巡回指導実企業数 79事業所 (内非会員分 5事業所) 巡回指導延件数 494件 (内非会員分 7件) 窓口指導実企業数 64事業所 (内非会員分 1事業所) 巡回指導延件数 181件 (内非会員分 1件) 課題解決提案件数 12件 経営革新承認件数 0件	小規模事業者	目標① 巡回窓口指導延件数 (達成度 135.0 %)			目標② 課題解決提案件数 (達成度 120.0 %)			得られた効果 今期はコロナウイルス感染症の感染拡大により、支援金等の相談が増え、指導件数が増え、巡回・窓口相談指導が小規模事業者の直面する課題解決をするとともに、経営の安定をはかる一助となった。また、会員の満足度や必要性に対して高い評価をいただいている。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	巡回目標、巡回地域目標にそって巡回活動をし、全小規模事業者の巡回を1年に1回は行うよう努める。	○
				目標数値	実績数値	675	目標数値	実績数値	12				A	必要性	A	現行どおり	現行どおり	実施方法①		
記帳継続指導	個人事業主に対し、正しい記帳方法や、決算・確定申告の指導をすることによって、正しい税務申告と、記帳に対する個々の意識を高めることにより、試算表の数字等から経営状態の把握と向上を図ることを目的とする。	記帳の仕方や試算表の見方等の指導 2人、指導事業所数48件 指導日数 364日 指導回数 780回 記帳継続個別指導会を実施回数8回、参加者延49人	小規模事業者	目標① 記帳指導事業所数 (達成度 102.1 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 記帳継続指導事業所では、記帳継続事業への満足度が高く、記帳継続事業を通して、正しい税務申告や自店の経営状態を把握することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新規開業の事業所など、新たな記帳指導事業所の開拓に努め、記帳指導事業所数を増やす。	
				目標数値	実績数値	48	目標数値	実績数値					A	必要性	A	現行どおり	現行どおり	実施方法①		
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と目録的な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 (集団) 2回 23人 (個別) 12回 89人 計 14回 112人	小規模事業者	目標① 講習会受講者数 (達成度 55.7 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 今期はコロナウイルス感染症の感染拡大により、集団の講習会を中心に中止することが増えた。しかし、個別指導を中心に実施し、税務等の知識習得をとおして、小規模事業者の資質の向上ははかれた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	研修テーマを早期に決め、早くからPR活動を行う。	○
				目標数値	実績数値	112	目標数値	実績数値					A	必要性	B	現行どおり	現行どおり	実施方法①		
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、青年部、女性部が主体になって各種セミナーを開催し、経営に必要な知識・技術の習得や資質の向上を図る。また、全国のリーダーが一同に会する全国大会に参加することで地域のリーダーとしての意識を高め新たな発見を促す。	事業承継セミナー I、SDGs時代の事業承継のあり方は 14名 II、SDGsを通じて課題解決の方法を身につける 11名 III、コロナ禍の中で求められる未来志向型リーダー像 12名 青年部連合会豊田支部合同研修会 4名 資質向上セミナー 美文字講習会I～ポールペン 15名 美文字講習会II～ふでペン 14名	小規模事業者	目標① 参加者対象アンケートで満足と答えた割合 (達成度 118.8 %)			目標② 講習会・研修会 受講者数 (達成度 100.0 %)			得られた効果 青年部は、事業承継のためのセミナーの開催し、今後事業を発展的に継続させていくためには持続可能な社会を目指すためにSDGsの時代のあり方や課題解決の方法について学ぶことができた。また、女性部の資質向上セミナーでは、美文字講習会を開催し、ポールペン・筆ペンでの美しい文字の書き方のポイントを実践形式で習った。ポイントを習うことで劇的な変化をする方もあり、案内状やお礼状などでよく使用する文字を何度も練習することができ、手書きで送付するきっかけを作ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	多くの部員が、積極的に研修に参加するよう、参加募集を積極的に行う。	
				目標数値	実績数値	95%	目標数値	実績数値	70				A	必要性	A	現行どおり	下げる	実施方法①		
祭典事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の産業（地域資源、観光資源）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	「マイカおいでん稲武」、「稲武まつり」、「ふれあいまつり」への協賛を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け全て中止となったため、実績はない。	小規模事業者	目標① 出店等参画事業者数 (達成度 0.0 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 「稲武まつり」、「ふれあいまつり」と予定していたイベントが全て中止となり、出店者のPRや売上アップに結び付かなかった。次年度へ向け早めの準備を進めている。	総合評価 -	事業実施評価 -	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は、コロナ感染対策の徹底を図り、積極的な参加を促し、出店者のPRや売上アップを図る。	
				目標数値	実績数値	0	目標数値	実績数値					-	必要性	B	現行どおり	現行どおり	実施方法①		
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、地元中小業者が抱える様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	商店街活性化計画のもとに「ソナビズ」系「いなぶのお買い物配達便」の実施 (R2年度実績) 523件 1,366,267円 ・街並みの灯り事業 ・体験型イベントを実施 (121回) 来場者157名 商店街活性化計画への参画事業者数 20店舗	小規模事業者	目標① 商店街活性化計画への参画事業所数 (達成度 100.0 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 H25年9月からスタートしたソーシャルビジネス「いなぶのお買い物配達便」も徐々に周知されつつある。固定客も増えてきており、新規顧客の獲得につながるチャンスもあり、今後への期待と可能性は大きい。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	「いなぶのお買い物配達便」は独自財源で実施するため、地元商店の武器にできるよう、一層の周知と事業内容の検討が必要である。	○
				目標数値	実績数値	20	目標数値	実績数値					A	必要性	A	現行どおり	現行どおり	実施方法①		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 稲武商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考							
				目標①		目標②		得られた効果	A B C D 評価				今後の展開・改善点等									
				指標	達成度	指標	達成度		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	目標①			目標②						
産業活性化事業	それぞれの地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、地産地消の推進などを行うことにより、企業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	ふるさとふれあいワーク 新型コロナウイルスの感染拡大をうけて中止 稲武産ギフト「中馬街道物語」 稲武特産品のPRのためギフト販売を実施 米粉商品開発プロジェクトを通して新商品開発（4商品）	小規模事業者	指標	新たな特産品開発数 (達成度 80.0 %)		指標	(達成度 %)		米粉商品開発プロジェクトを活用 ・新たな事業者が、新たな商品開発に取り組む ・新聞等、稲武地区のPRがはかれ、出展依頼が増加	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	稲武産ギフト「中馬街道物語」の認知を高め、利用促進を図る活動を行う。	○
				目標数値	5	実績数値	4	目標数値	実績数値					目標達成度			A		必要性	現行どおり		
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	コロナウイルスの影響を受け、地区内イベント全て中止。地区：17大会主催（11/24） 花街道事業へ参画（花の植替え作業）（2回）	小規模事業者	指標	青年部・女性部員数 (達成度 97.7 %)		指標	(達成度 %)		コロナウイルスの影響を受け、地区内イベント全て中止で、活動が危ぶまれたが、コロナ禍の中でもできること、できる活動を検討し、実施することで部員間の交流を深めることができた。インターネットを利用するなど、地域の活性を目指した活動を行い、新しい事業を立ち上げることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新たな部員確保のため、部員一丸となって、加入勧奨活動を活発に行う。	○
				目標数値	43	実績数値	42	目標数値	実績数値					目標達成度			A		必要性	下げる		
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営、雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・各種共済の普及推進 特定退職金共済（79件） 中小企業共済（153件） 愛知火災共済（58件） 商工災害生命共済（20件） 計 310件 ・事業所健康診断の実施 24事業所、267人	小規模事業者数	指標	共済加入件数（総数） (達成度 94.5 %)		指標	(達成度 %)		高齢化による廃業、景気の低迷により、従業員数が減少しているため、共済加入者は減少傾向ではあるが、小規模事業者が自社の福利厚生の充実をはかり、企業の健全な発展をはかるための、一助となっていると思われる。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	退職金の備え、健康診断受診の必要性等の理解を得るための活動に重点を置く。	○
				目標数値	328	実績数値	310	目標数値	実績数値					目標達成度			B		必要性	下げる		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険料の年度更新及び従業員の資格取得喪失等の手続きを代行 35事業所 対象従業員195人	小規模事業者数	指標	委託事業所数 (達成度 92.1 %)		指標	(達成度 %)		小規模事業者の事務処理の適正化及び負担軽減がはかっている。更に、委託事業主からは、社会保険をはじめ、従業員雇用に関する相談を受け、信頼を得ている。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険制度の理解を進める啓蒙活動を行う等、加入勧奨に力を入れていく必要がある。	○
				目標数値	38	実績数値	35	目標数値	実績数値					目標達成度			B		必要性	下げる		
青色申告会・法人会	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、地域商工業の活性化に資することを目的とする。	○研修会 「適格請求書等保存方式の概要について」参加者 29名 ○地域貢献活動 新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、協賛予定のイベントが中止となった。 法人会・青申告会会員数 96名	小規模事業者数	指標	法人会・青色申告会会員数 (達成度 87.3 %)		指標	(達成度 %)		正しい税知識の習得や情報を得ることができた。また、地域貢献活動により市内中心部からの来訪者に稲武地域のPRがはかれた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	どの団体も、会員数の減少が心配されている。新たな会員を増やすためにも、活動内容の検討を行う。	○
				目標数値	110	実績数値	96	目標数値	実績数値					目標達成度			B		必要性	下げる		
産業団体	稲武カード会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国、地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	・稲武カード会 (売出し（8月・12月）、抽選会（1月）、4MINETON設置（12月）他) ・食品衛生協会稲武分会 (検便（5月、10月）他) ・愛建連北北支部 (コロナウイルスの感染拡大により木工教室等の事業を中止他) ・木材組合 各種団体構成員数合計78名	小規模事業者数	指標	構成員数（指導団体計） (達成度 86.7 %)		指標	(達成度 %)		それぞれの団体により、活動状況に差があり、構成員を増やすためにも活動が活発になるよう協力や指導を行った。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今年度の事業成果を来年度以降の事業に活かせるような事業を検討する。	○
				目標数値	90	実績数値	78	目標数値	実績数値					目標達成度			B		必要性	下げる		
調査・広報事業	当地区内の景気状況や需要動向を把握し、以後の施策や指導に役立つとともに、回収したデータを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果的かつ効率的な指導に繋げることが目的とする。	地域経済動向調査実施 有効回答 54社（145社中） 需要動向調査を道の駅で実施 10月25日・11月1日 調査数 210名 調査結果は、理事会等の会議で報告	小規模事業者数	指標	地域経済動向調査実施企業数 (達成度 60.0 %)		指標	(達成度 %)		全事業所アンケートを送り、多くの回答を得られた。この結果を今後の事業展開に反映させる。また、需要動向調査も実施し、事業者へフィードバックする事が出来、商品開発や改良に活かせる。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	アンケート回収率を上げ、今後の事業に活かすことが課題である。	○
				目標数値	90	実績数値	54	目標数値	実績数値					目標達成度			C		必要性	下げる		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。